

平成29年度熊本県商店街実態調査の概要

I. 商店街実態調査について

1. 調査目的及び調査内容

商店街振興施策を進めるうえで必要な基礎的情報として、県内商店街の実態及び経年変化を把握する目的で実施。

2. 調査対象

15店舗以上の商店主等で構成される商店街振興組合、繁栄会等の団体、また、組織体制はないが近接する15店舗以上で形成されている街区。

3. 調査項目

(1) 基礎調査(毎年度実施)

・営業中店舗数 ・空き店舗数 ・免税店舗数 ・開店店舗数 ・閉店店舗数 ・組合員数

(2) 実態調査(今回は平成25年度に実施)

・各商店街の現況及び熊本地震の影響等

4. 調査基準日

(1) 基礎調査

平成28年3月31日及び平成29年3月31日

(熊本地震の影響により平成28年度は実施できなかったため2か年分の調査時点とした)

(2) 実態調査

平成29年3月31日

5. 調査方法

市町村及び商工団体等の協力のもと、平成29年10月～12月にアンケート調査を実施。

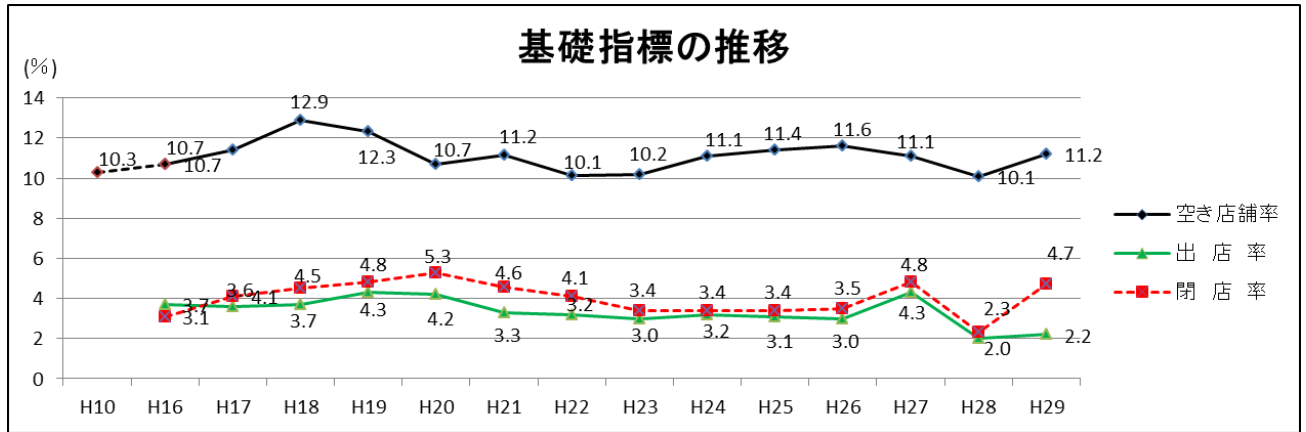
6. 回収率

84.7%(調査対象の189商店街のうち、160商店街から回答)

市町村別商店街数					
市町村名	調査対象	回答済み	市町村名	調査対象	回答済み
熊本市	93	68	長洲町	1	1
八代市	7	7	大津町	2	2
人吉市	3	3	菊陽町	1	1
荒尾市	7	7	南小国町	1	1
水俣市	7	7	小国町	4	4
玉名市	12	12	高森町	1	1
天草市	8	8	甲佐町	1	1
山鹿市	10	7	山都町	5	5
菊池市	3	3	氷川町	1	1
宇土市	2	2	芦北町	2	2
上天草市	3	3	あさぎり町	1	1
宇城市	7	6	多良木町	1	1
阿蘇市	3	3	湯前町	1	1
美里町	1	1	合計	189	160
南関町	1	1	回答率		84.7%

Ⅱ. 調査結果

1 基礎指標の状況



調査地点：平成28年3月31日

◇空き店舗率

10.1%

(対前年度比-1ホﾟイント)

◇新規出店率

2.0%

(対前年度比-2.3ホﾟイント)

◇閉店廃業率

2.3%

(対前年度比-2.5ホﾟイント)

調査地点：平成29年3月31日

◇空き店舗率

11.2%

(対前年度比+1.1ホﾟイント)

◇新規出店率

2.2%

(対前年度比+0.2ホﾟイント)

◇閉店廃業率

4.7%

(対前年度比+2.4ホﾟイント)

- ◇ 空き店舗率：空き店舗数／総店舗数(店舗数+空き店舗数)
- ◇ 新規出店率：出店数／店舗数
- ◇ 閉店廃業率：閉店数／(店舗数-出店数+閉店数)

- ・ 空き店舗率は、平成28年3月31日の調査時点では前年に比べ1ポイント低下したものの、平成29年3月31日の調査時点では1.1ポイント上がり11%台に戻った。
- ・ 出店率・閉店率ともに平成28年3月31日の調査時点では、前年に比べそれぞれ2ポイント超下がり2%台となった。
また、平成29年3月31日の調査時点では、出店率は0.2ポイントの上昇となったが2%台に止まり、閉店率は2.4ポイントの上昇で4%台に増えている。
- ・ 空き店舗率は、熊本市内に比べ熊本市外が高い。
熊本市内 H28:6.0% H29:6.7%
熊本市以外 H28:13.7% H29:15.0%

2 熊本地震の影響

(1) 店舗数の増減

熊本地震前(平成28年3月31日)と調査基準日(平成29年3月31日)の比較

◇増加◇
8.0%

◇変わらない◇
49.4%

◇減少◇
42.6%

(2) 来街者の状況

熊本地震前(平成28年3月31日)と地震後(概ね3ヶ月)の比較

◇増加◇
8.8%

◇変わらない◇
39.0%

◇減少◇
52.2%

地震後(概ね3ヶ月)と調査基準日(平成29年3月31日)の比較

◇増加◇
19.1%

◇変わらない◇
47.1%

◇減少◇
33.8%

(3) 商店街の景況

熊本地震前(平成28年3月31日)と調査基準日(平成29年3月31日)の比較

◇良くなった◇
8.7%

◇変わらない◇
50.0%

◇悪くなった◇
41.3%

- 熊本地震前(平成28年3月31日)と調査基準日(平成29年3月31日)を比較した店舗数の増減は、半数(49.4%)が「変わらない」と回答。「やや減った」「減った」と回答した割合は42.6%で「増えた」「やや増えた」と回答した8%を大きく上回っている。
- 熊本地震前と地震後(概ね3ヶ月)を比較した来街者の増減は「増えた」「やや増えた」の合計は8.8%、「やや減った」「減った」の合計は52.2%。
地震後と調査基準日を比較した来街者の増減は「増えた」「やや増えた」の合計は19.1%、「やや減った」「減った」の合計は33.8%となり、地震後よりも調査基準日の方が来街者が戻りつつあるものの、減少が続いている状況も見られている。
- 熊本地震前と調査基準日を比較した商店街の景況は、半数(50%)が「変わらない」と回答。「悪くなった」「大幅に悪くなった」と回答した割合は41.3%で「良くなった」「大幅に良くなった」と回答した8.7%を大きく上回っている。